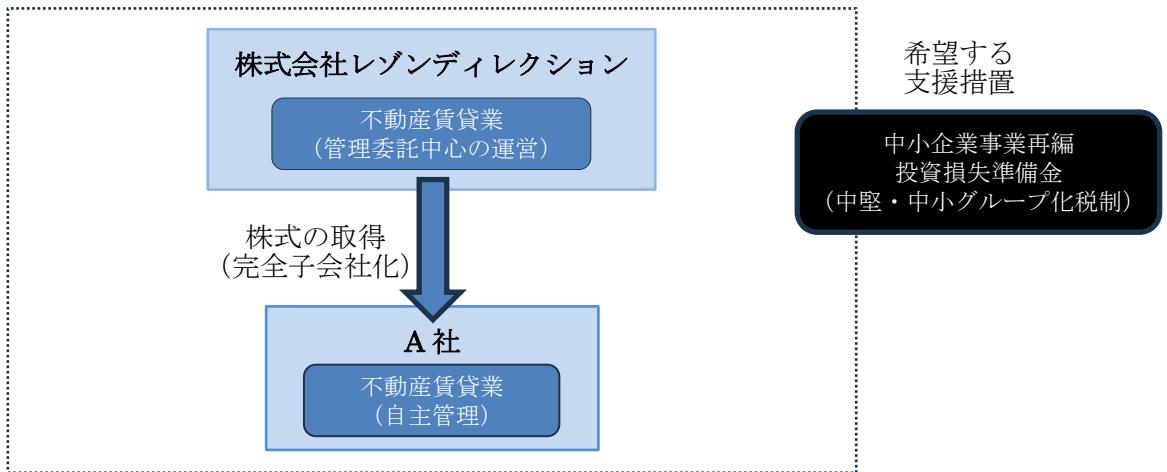


株式会社レゾンディレクションの「特別事業再編計画」のポイント

株式会社レゾンディレクションはA社の全株式を取得することで、中核事業である不動産賃貸業について、従来の管理委託中心の運営から、A社の自主管理ノウハウを取り込んだ内製・標準化型の運営体制へ移行する。

これにより、居者対応の迅速化、空室期間の短縮、計画修繕の徹底を通じて、稼働率・賃料水準・資産価値を持続的に高めることを、グループ共通の価値観として定着させ、不動産賃貸業の価値最大化と生産性の向上、収益力の強化を図る。



【生産性の向上】

- ・従業員1人当たり付加価値額を計画終了年度までに14.3%向上させる。
- ・売上高を1.35倍とする。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー 2.5倍
- ・経常収支比率 266.9%

【賃上げ】

- ・雇用者給与等支給額を計画終了年度までに年率2.5%向上させる。

【新販売方式の導入】

- ・「自主管理型の賃貸管理サービス」導入により、入居者対応の迅速化、空室期間の短縮、計画修繕の実行力向上を図り、増加した賃料収入等（空室損失の減少、更新率向上、賃料条件の適正化等の增收分）の売上高を計画終了時点で全売上高の1.5%以上とする。

【計画の実施期間】

- ・令和8年1月～令和10年7月